



J

## スピーカーパッケージ

# NS-P350 (NS-PC350 + NS-PB350)

### 取扱説明書

保証書別添付

ご使用の前に必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。  
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

### !**警告**

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

### !**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

### !**警告**

#### 分解禁止



分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。  
火災や感電の原因になります。  
修理および調整は販売店にご依頼ください。

分解禁止

#### 設置



本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水ぬれ禁止

水の混入により、火災や感電の原因になります。



取付け後は必ず安全性を確認する。

また、定期的に落下や転倒の可能性がないか安全点検を実施してください。

取付け箇所、取付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。



スピーカーケーブルは必ず壁などに固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが落下や転倒し、故障の原因となります。

必ず実行

#### 使用上のご注意



ポート（背面開口部）などに異物を入れたりしない。  
火災や感電の原因になります。

禁止



本機の上には、花瓶・植木鉢・カップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。  
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

禁止

# ⚠ 注意

## 設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のある場所や、温度が異常に高くなる  
場所(暖房機のそばなど)には設置しない。  
外装が変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原  
因になります。

禁止



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因に  
なります。

禁止



スピーカーの底面積より狭い場所や傾斜のある場所  
には設置しない。  
スピーカーが落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



接続する場合は、アンプの電源を切る。接続方法は、  
それぞれの機器の取扱説明書に従う。

注意

## 移動



移動をするときには、アンプの電源スイッチを切り、  
すべての接続コードを外す。  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。  
持ち運ぶときは、ポート(背面開口部)や前面のサ  
ランネットに手をかけない。  
ポートが外れたり、サランネットが破れたり、本機を落  
としたりして、けがの原因になります。

プラグを抜く



## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるもので  
す。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間  
には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを  
伝わりやすく、思わずところに迷惑をかけてしま  
います。適度な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホン  
をご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで  
楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りま  
しょう。

## 使用上のご注意



電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの  
音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

必ず実行



音が歪んだ状態で長時間使用しない。  
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止



ポート(背面開口部)に手を入れない。  
感電やけがの原因になります。

禁止



本機に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったり  
しない。

落下や転倒したり、破損したりして、けがの原因にな  
ります。

## お手入れ



薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。  
また接点復活剤を使用しない。

禁止

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



(艶出し仕上げモデルの場合) 本体の表面に金属、陶  
器、その他固いものを当てない。  
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。

禁止

## お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭き  
するようにしてください。汚れがひどいときは、水を  
布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

# 目 次

安全上のご注意 .....	i	接続のしかた .....	4
本機の特徴 .....	1	接続図 .....	4
同梱品の確認 .....	1	サランネットの取りはずし / 取り付け .....	6
スピーカーの設置 .....	2	仕様 .....	7
センタースピーカーの設置 .....	2		
スピーカーを壁に掛ける場合 .....	3		

## 本機の特徴

- PMD コーン採用
- 2 ウェイ 3 スピーカーシステム (NS-PC350)
- 2 ウェイ 2 スピーカーシステム (NS-PB350)

## 同梱品の確認

同梱品がすべてそろっているか、確認してください。

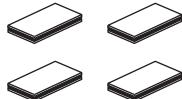
センタースピーカー  
(NS-PC350)



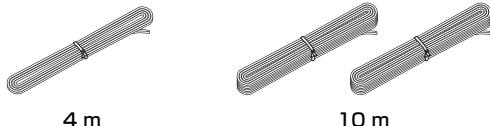
サラウンドスピーカー  
(NS-PB350)



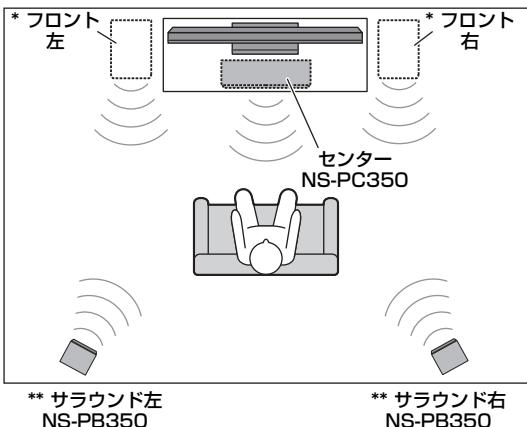
固定テープ  
(センタースピーカー用)



スピーカーケーブル



# スピーカーの設置



スピーカーを接続する前に、各スピーカーを部屋に設置します。スピーカーの位置はシステム全体の音響に影響します。視聴位置で最適な音響が得られるように、各スピーカーを設置してください。左図のように設置すると、もっとも効果的な音場を得られます。

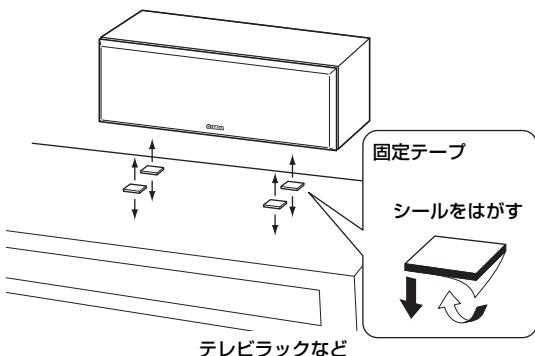
## ご注意

- スピーカーのみでは音を出すことができません。  
AVアンプ（別売り）に接続してお使いください。
- スピーカーをブラウン管テレビの近くに設置すると  
画像の乱れや雑音が生じことがあります。そのような場合は、スピーカーとテレビを約20cm離してください。液晶テレビやプラズマテレビには影響しません。

\* 2台のフロントスピーカー（別売）をテレビの左右にまっすぐ正面に向けて設置します。

\*\* 左右のサラウンドスピーカーを視聴位置の左右後方に、少し内側に向けて設置します。

## センタースピーカーの設置



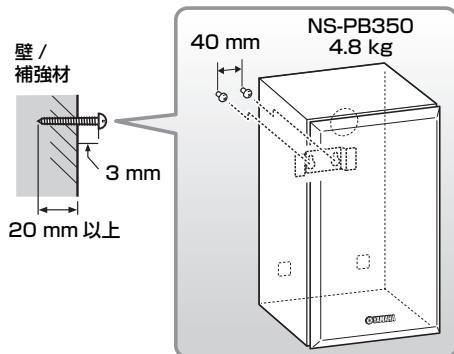
左右フロントスピーカーの真ん中に、まっすぐ正面を向けて設置します。（テレビラックなど）必ず表面が水平な場所に設置してください。設置する際は、図のように付属の固定テープを貼り、スピーカーを設置場所に固定してください。

## ご注意

- 固定テープを貼る前に、設置場所をきれいに拭いてください。もし表面が汚れていたり、または濡れていれば、テープの接着力が弱まり、スピーカーが落下や転倒する原因になります。

## スピーカーを壁に掛ける場合

スピーカーを壁に掛けて使えます。



- 1** 図のように、十分に強度のある壁または補強材に、2本のタッピングネジ（市販品、直径3.5～4mm）を取り付けます。
- 2** タッピングネジの頭にスピーカー背面の壁掛け金具の穴を掛けます。

### ご注意

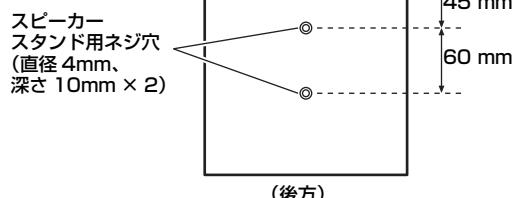
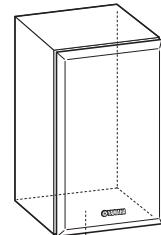
- タッピングネジが、穴の狭い部分に確実に入っていることをご確認ください。

## スピーカースタンドに取り付ける場合

市販のスピーカースタンドに取り付ける場合は、本機底面の取り付け用ネジ穴を利用して下さい。

（直径4mm、長さ10mm以内のネジを使用します。）

NS-PB350



### ご注意

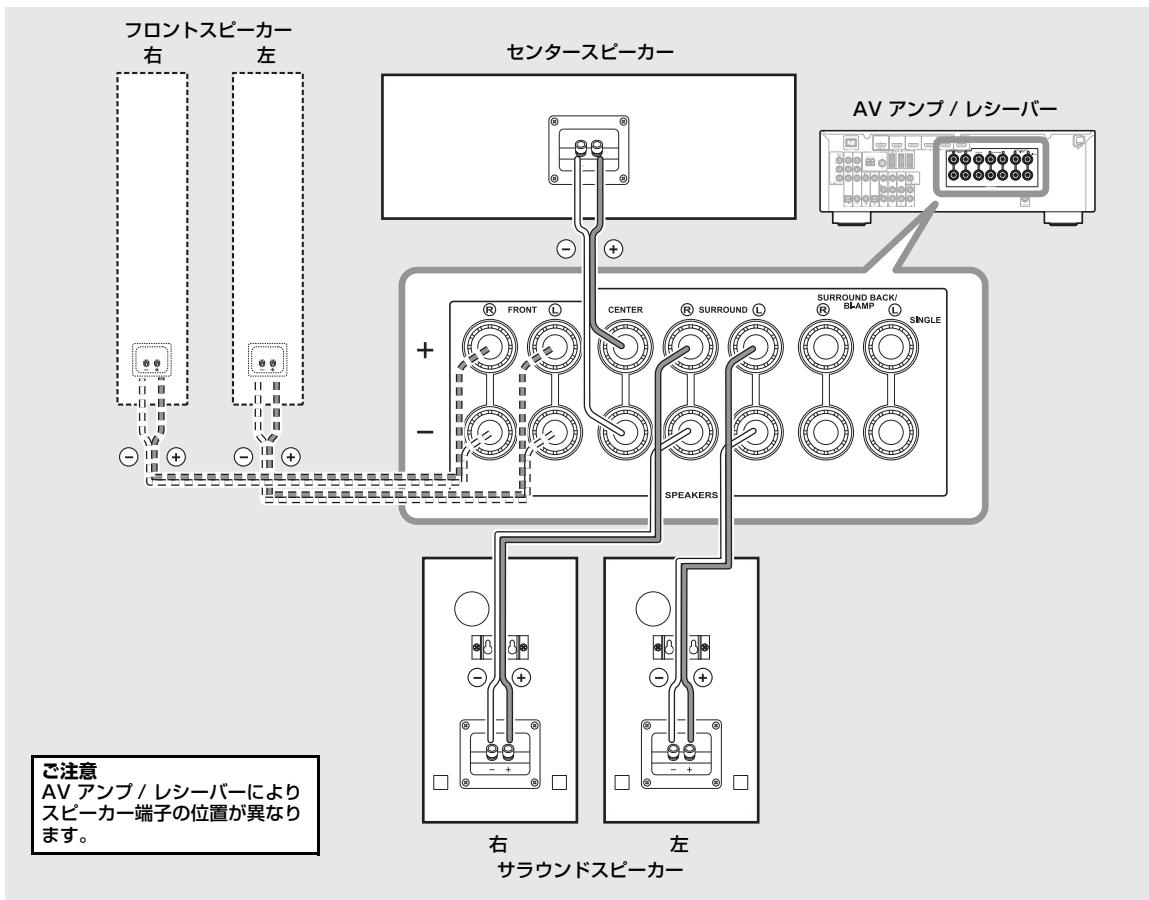
- モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁には取り付けないでください。ネジが抜けてスピーカーが落下すると、スピーカーの故障、けがの原因になります。
- スピーカーを釘や両面テープなどで取り付けないでください。長期の使用により、振動で釘がゆるんだり、両面テープがはがれてスピーカーが落下すると、けがの原因になります。
- スピーカーケーブルをスピーカーと壁掛け用取り付け金具の間に挟まないようにご注意ください。
- スピーカーケーブルに手足を引っ掛けることのないように、ケーブルは必ず固定してください。
- 市販の取付金具を使って壁や天井にスピーカーを設置する際は、落下防止のためにスピーカーと取付金具の間に市販の落下防止用ワイヤーをご使用ください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。安全性に不安がある場合は、専門の施工業者に取り付け工事をご依頼ください。

# 接続のしかた

## ご注意

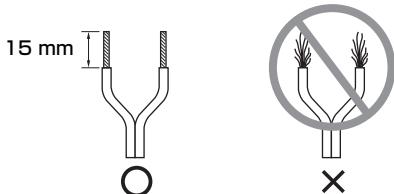
すべての接続が完了するまで、サブウーファーおよび AV 機器の電源コードをコンセントに接続しないでください。

## 接続図



## ■ スピーカーケーブルの準備

スピーカーの設置が完了したら、付属のスピーカーケーブルをサラウンド左右、センタースピーカー接続用として用意します。

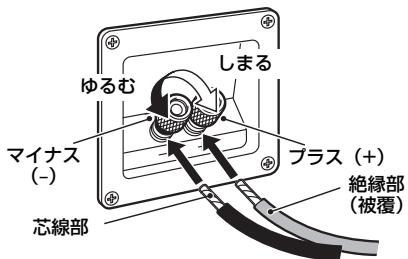


- 1 AV アンプ / レシーバー（以降は AV アンプと表記）から各スピーカーまでの配線を考慮のうえ、付属のスピーカーケーブルを 5 本に切断します。
- 2 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を 15mm ほどはがします。
- 3 芯線をしっかりとよじります。

## ご注意

- スピーカーケーブルはできるだけ短くしてください。たるみが生じても束ねたり巻いたりしないでください。
- スピーカーケーブルに手足を引っ掛けることのないようにご注意ください。転倒してけがの原因になります。
- 芯線がバラけないように、しっかりとよじってください。
- スピーカーケーブルを準備する際、けがをしないようにご注意ください。

### ■ スピーカー端子との接続



- 1 スピーカー端子を左に回してゆるめます。
- 2 穴にスピーカーケーブルの芯線を差し込みます。
- 3 スピーカー端子を右に回して締めつけます。
- 4 スピーカーケーブルを軽く引っ張り、確実に接続されていることを確認します。

#### ご注意

- ・ショートしないように、芯線部分だけを端子の穴に差し込んでください。
- ・芯線どうしがショート（接触）しないように、しっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと、スピーカーや AV アンプをいためる原因になります。
- ・正しく接続されていない場合、スピーカーから音が出ません。

### ■ アンプとの接続

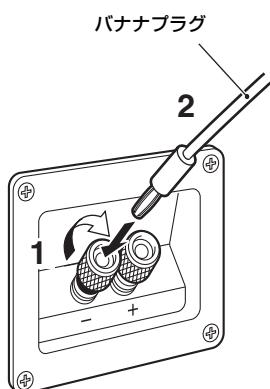
「接続図」(☞ 4 ページ) を参考に、スピーカーに接続したケーブルを AV アンプの該当スピーカー端子に接続します。

必ずスピーカーと AV アンプのプラス (+) 端子どうし、マイナス (-) 端子どうしを接続してください。極性 (プラス / マイナス) を間違えて接続すると、音が不自然になったり、低音が出ないことがあります。

#### ご注意

- ・スピーカー背面の端子とアンプのスピーカー端子を市販のスピーカーケーブルで接続します。本機の赤端子はプラス (+)、黒端子はマイナス (-) です。
- ・AV アンプでスピーカーサイズを指定する際は、すべてのスピーカーを「小」(または「S」) に設定してください。
- ・左スピーカーはアンプの L (左) 端子に、右スピーカーはアンプの R (右) 端子に接続します。極性 (+, -) を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。
- ・スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを [ 使用する場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を入力しないよう、ご注意ください。 ]
- ・アンプのトーンコントロール (BASS、TREBLE 等) やイコライザーを最大にして過大出力で使用したり、特殊な信号 (テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生波) を連続して入力することは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行なわないでください。

### ■ 市販のバナナプラグ使用の場合



- 1 端子を右に回して強く締めます。
- 2 バナナプラグをスピーカー端子の穴に差し込みます。

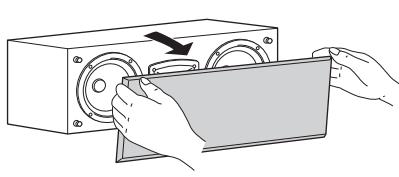
# サランネットの取りはずし / 取り付け

サランネットは、スピーカーユニットを保護するためのものですが、お好みによって取りはずしてもお使いいただけます。

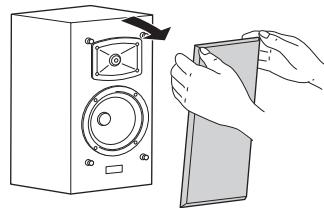
取りはずす場合は、サランネットの四隅を手前に引くとはずれます。

取り付けは、サランネット裏側ホルダーと本体側ホールドピンを合わせて、押し込みます。(サランネットの布部分は押さえないでください。)

NS-PC350



NS-PB350



## ご注意

- サランネットをはずした状態で、スピーカーユニット、特にツィーターに手を触れたり、工具などで無理な力を加えないでください。音が歪む原因となります。
- スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。故障の原因となります。

# 仕様

## ■ センタースピーカー (NS-PC350)

型式	2 ウェイ・密閉非防磁型
スピーカーユニット	13cm コーンウーファー×2 3cm アルミドームツィーター
インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	58Hz～45kHz (-10dB) ～100kHz (-30dB)
許容入力	100W
最大入力	200W
出力音圧レベル	90dB
クロスオーバー周波数	2.8kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	500 × 174 × 202mm
質量	6.3kg

## ■ サラウンドスピーカー (NS-PB350)

型式	2 ウェイ・バスレフ式／非防磁型
スピーカーユニット	13cm コーンウーファー 3cm アルミドームツィーター
インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	57Hz～45kHz (-10dB) ～100kHz (-30dB)
許容入力	50W
最大入力	150W
出力音圧レベル	88dB
クロスオーバー周波数	3kHz
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	186 × 320 × 208mm
質量	4.8kg

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ 上記の最大入力値以上の信号を加えないよう十分ご注意ください。

# お問い合わせ窓口

## ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル  
(全国共通)  0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### ■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。  
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

## ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関する お問い合わせ

### ■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル  
(全国共通)  0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様  
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様  
(06) 6649-9340

### 修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)  
\*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

### 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

### 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17  
ナンバード本ニッセイビル7F  
FAX (06) 6649-9340

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

### ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

### ●修理料金の仕組み

**技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

**部品代**

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

**出張料**

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいたたく場合があります。

### ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

### ●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

### ●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ポリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

## 永年ご使用の製品の点検を！



### 愛情点検

#### こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コケくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触るとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、  
必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理にかかる費用は販売店にご相談ください。

